

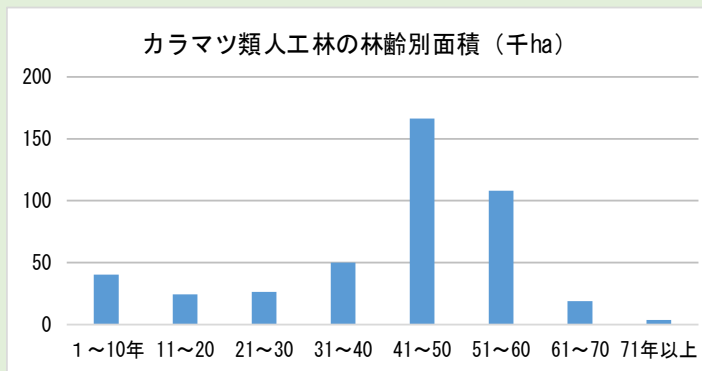
## 新しい乾燥技術「カラマツ心持ち乾燥材（コアドライ）」が開発されました

### ○ 新しい木材の乾燥技術が開発されました

地方独立行政法人 北海道立総合研究機構 森林研究本部 林産試験場では、平成22年度から平成26年度の戦略研究「『新たな住まい』と森林資源循環による持続可能な地域の形成」により、道産カラマツ材を建築用構造材として使うための新たな木材乾燥技術の開発に取り組みました。この度開発された新たな木材乾燥技術は「コアドライ」と名付けられ、道産カラマツ材の高品質な建築用構造材としての利用が期待されています。

### ○ カラマツとは

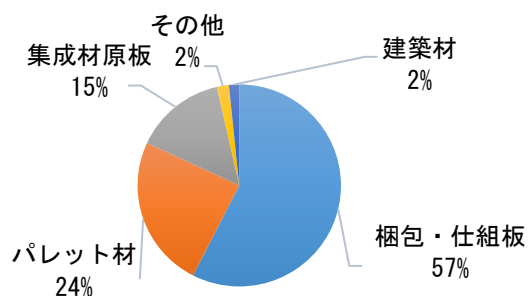
カラマツは成長が早く北海道の気候風土に適した樹木として古くから造林が進められ、特に戦後は大面積に造林されたカラマツ林の多くが伐採の時期を迎えています。カラマツは以前、炭鉱の坑木用として需要が多かったのですが、現在は製材品に加工され、主に梱包・仕組板、パレット材などの産業用資材として、また、集成材原板などとして出荷されていますが、カラマツ材の大径化が進み、付加価値のより高い建築用構造材としての用途開拓が求められていました。



・北海道林業統計から（H26. 3/31現在）針葉樹人工林齢別面積より  
・カラマツ類にはグイマツ、グイマツF1及びスーパーF1を含む



### カラマツ製材品の用途別出荷量割合



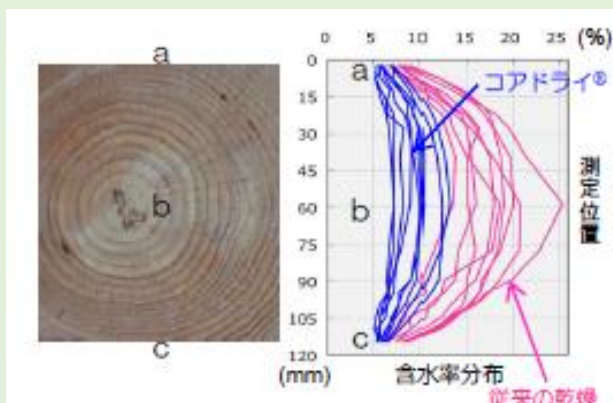
・北海道水産林務部林業木材課「木材需給情報平成27年3月分確報（製材工場動態調査）より」

## ○ コアドライとは

カラマツ材は乾燥すると「くるとい（ねじれや曲がりなど）」や「割れ」が生じやすいため建築用構造材に要求される寸法安定性の確保が難しく、道産人工林材のなかでは強度に優れる素材でありながら建築用構造材としての利用は余り多くありませんでした。そこで、カラマツ材を建築用の柱材（心持ち無垢柱材）として利用する、くるといや割れを防止する新しい木材乾燥技術が開発されました。

### コアドライ材の特長

- 1 割れが少ない
- 2 内部(コア)まで、しっかりと乾燥
- 3 施工後にねじれが生じにくい



コアドライを使用した建築中の住宅

## ○ コアドライのブランド化

新しい乾燥材の品質がイメージしやすく、内部（コア）までの乾燥を特長としていることを踏まえ、「コアドライ」と名付けられ、アルファベットのCのC、ドライのDからなるロゴマークが作成されています。

\*コアドライは、北海道木材産業協同組合連合会の登録商標となっています（商標登録第5700825号）。また、妥協しない品質の見える化を図るため生産事業者の認定制度も設けられています。



詳しくは、こちらをご覧ください。

- ・道立林産試験場のホームページ → <https://www.hro.or.jp/list/forest/research/fpri/>
- ・コアドライ紹介のページ → <https://www.hro.or.jp/list/forest/research/fpri/manual/coredry/coredry.pdf>
- ・北海道木材産業協同組合連合会コアドライ生産事業者認定制度  
→ <http://www.woodplaza.or.jp/coredry/index.html>